

特集

日々の医療情報を 研究に活かす

データの2次利用に向けて

ビッグデータや生成系AIなど近年のIT技術の進歩に伴い、医療分野においても、臨床の現場で日々記録されているデータを研究に活かす取り組みへの関心が、急速に高まっています。しかし、いざデータを活用しようとしたとき、そこには理解しておくべきポイントや越えるべきハードルが、さまざまに存在します。

そこで本特集では、在宅ケアの現場において日々蓄積されているデータを例に、データの2次利用のために必要な考え方と具体的な手続きの方法・プロセスについて、さまざまな視点から解説します。まずは何から始めればよいのか、そもそも医療データの利活用とは何なのか、そのメリットやデメリットはどこにあるのか、おさえておくべきポイントは何か、そして、実際にデータの2次活用はどのように進められていくものなのか——本特集を通じて、既存データを活用した研究の進展とエビデンス創出に向けたロードマップを描いていきます。

『看護研究』編集室

企画：友滝愛 東海大学医学部看護学科公衆衛生看護学領域特任講師